

# 書 写

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	書写 701	A B 146	令和2年
15	三省堂	三省堂◆	書写 702	B 5 130	
17	教育出版	教 出◆	書写 703	A B 146	
38	光村図書	光 村	書写 704	B 5 158	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	東書、三省堂、教出、光村

## 2 都立白鷗高等学校附属中学校の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

- (1) 日本文化・異文化理解とコミュニケーション能力を育成するため、日本の文化・伝統に対する関心や理解を深め、継承・発展させる態度を身に付けさせる。
- (2) 豊かな教養を涵養する教育を展開するため、基礎・基本を確実に定着させるとともに、発展的な学習を積極的に行う。
- (3) 国際色豊かな学習環境を整備するとともに、ダイバーシティ（多様性）を尊重する態度を育成する。

### 【国語（書写）における学習指導の展開】

国語（書写）では、書写の能力の基礎を養う。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	台東地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 都立白鷗高等学校・附属中学校の教育内容の充実に係る検討委員会報告書第3章 平成31年度学校経営計画	個
b 世界の文字・言語を扱っている箇所数	同上	箇所

### ※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の文化・伝統に対する関心や理解を深め、継承・発展させる態度を身に付けさせるため、古典を活用している教材数を調査する。
- b 異文化に対する関心や理解を深め幅広い視野を養うため、世界の文字・言語を扱っている箇所数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】都立白鷗高等学校附属中学校 書写

項目 発行者	a 日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	b 世界の文字・言語を扱っている箇所数
東書	10	3
三省堂	8	2
教出	15	2
光村	8	3
平均値	10.3	2.5

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 古典の文章やその一部などを活用している教材数を数えている。

b 世界の文字・言語を紹介するなどしている箇所数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	東書、三省堂、教出、光村

## 2 都立小石川中等教育学校（前期課程）の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

- (1) 世界的視野をもち、国際社会に貢献しようとする志と使命感をもつ生徒を育成するため、大学や国際機関の教育力を活用し、国際社会における在り方や生き方を主体的に考えさせる。
- (2) 自然科学をはじめ各教科で確かな学力を育む教養教育を展開するために、基礎学力を確実に定着させるとともに、生徒一人一人の習熟の程度に応じて、補充的な学習と発展的な学習を行う。

### 【国語（書写）における学習指導の展開】

用具、用材の性質と扱いを理解させ、正しい姿勢と執筆法により、書写能力を高める。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 書く文字を生徒が選択する教材数	文京地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 平成31年度学校経営計画	個
b 世界の文字・言語を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 自ら考え、判断し、主体的に学習に取り組む姿勢を身に付けさせるため、書く文字を選択するよう示されている教材数を調査する。
- b 異文化に対する関心や理解を深め幅広い視野を養うため、世界の文字・言語を扱っている箇所数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】都立小石川中等教育学校(前期課程) 書写

項目 発行者	a 書く文字を生徒が選択する教材数	b 世界の文字・言語を扱っている箇所数
東書	3	3
三省堂	3	2
教出	3	2
光村	3	3
平均値	3.0	2.5

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 書く文字や言葉を複数示し、生徒が選択した文字や言葉を書写できる教材数を数えている。

b 世界の文字・言語を紹介するなどしている箇所数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	東書、三省堂、教出、光村

## 2 都立両国高等学校附属中学校の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

- (1) 豊かな心と世界的視野をもつ生徒を育成するため、全ての知的活動の基盤である国語力を育成し、我が国の社会、自然、文化などへの理解を深めさせ、日本人としてのアイデンティティを育む。
- (2) 広く深い教養、知性を涵養<sup>かん</sup>する教育を展開するため、基礎・基本を徹底して定着させ、発展的な学習を積極的に展開して応用力を育成する。

### 【国語（書写）における学習指導の展開】

漢字の楷書・行書等を学び、基礎的書写能力を養う。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	墨田地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 平成31年度学校経営計画	個
b 世界の文字・言語を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の文化・伝統に対する関心や理解を深め、継承・発展させる態度を身に付けさせるため、古典を活用している教材数を調査する。
- b 異文化に対する関心や理解を深め世界的視野を養うため、世界の文字・言語を扱っている箇所数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】都立両国高等学校附属中学校 書写

項目 発行者	a 日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	b 世界の文字・言語を扱っている箇所数
東書	10	3
三省堂	8	2
教出	15	2
光村	8	3
平均値	10.3	2.5

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 古典の文章やその一部などを活用している教材数を数えている。

b 世界の文字・言語を紹介するなどしている箇所数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	東書、三省堂、教出、光村

## 2 都立桜修館中等教育学校（前期課程）の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

- (1) 国際社会を担う生徒を育成するため、論理的な思考力・表現力を育成し、日本の伝統や文化を理解するとともに、他国の文化を理解し、世界の中の日本人としてのアイデンティティを育む。
- (2) 高い知性を涵養する教育を展開するため、教科教育を充実させ、確かな学力を身に付けさせるとともに、個性の伸長や創造力の育成につながる発展的な学習を積極的に行う。

### 【国語（書写）における学習指導の展開】

漢字の楷書・行書等を学び、基礎的書写能力を養う。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	中等教育学校基本計画検討委員会報告書 第1章 平成31年度学校経営計画	個
b 世界の文字・言語を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の文化・伝統に対する関心や理解を深め、継承・発展させる態度を身に付けさせるため、古典を活用している教材数を調査する。
- b 異文化に対する関心や理解を深め、他国の文化を尊重する態度を養うため、世界の文字・言語を扱っている箇所数を調査する。



「別紙」【内容 調査研究】都立桜修館中等教育学校(前期課程) 書写

項目 発行者	a 日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	b 世界の文字・言語を扱っている箇所数
東書	10	3
三省堂	8	2
教出	15	2
光村	8	3
平均値	10.3	2.5

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 古典の文章やその一部などを活用している教材数を数えている。

b 世界の文字・言語を紹介するなどしている箇所数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	東書、三省堂、教出、光村

## 2 都立立川国際中等教育学校（前期課程）の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

- (1) 将来、国際社会で活躍できる素養のある生徒を育成するため、外国語教育を充実させ、英語を中心としたコミュニケーション能力を身に付けさせるとともに、日本の伝統や文化を理解し、異なる文化をもった人々とともに生きていく態度を養う。
- (2) 確かな基礎学力の上に幅広い教養教育を展開するため、論理的な思考の根幹となる日本語の基礎・基本を定着させるとともに、思考力、表現力を引き出す内容を積極的に取り入れた学習を行う。

### 【国語（書写）における学習指導の展開】

書の基本、正しい姿勢と筆法（楷書、行書を中心に）について学ばせ、書に親しむ態度を養う。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	立川地区中高一貫6年制学校（国際中等教育学校）基本計画検討委員会報告書 第3章 平成31年度学校経営計画	個
b 世界の文字・言語を扱っている箇所数	同上	箇所

### ※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の文化・伝統に対する関心や理解を深め、継承・発展させる態度を身に付けさせるため、古典を活用している教材数を調査する。
- b 異文化に対する関心や理解を深め幅広い視野を養うため、世界の文字・言語を扱っている箇所数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】都立立川国際中等教育学校(前期課程) 書写

項目 発行者	a 日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	b 世界の文字・言語を扱っている箇所数
東書	10	3
三省堂	8	2
教出	15	2
光村	8	3
平均値	10.3	2.5

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 古典の文章やその一部などを活用している教材数を数えている。

b 世界の文字・言語を紹介するなどしている箇所数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	東書、三省堂、教出、光村

## 2 都立武蔵高等学校附属中学校の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

- (1) 国際社会で活躍するリーダーを目指す生徒を育成するため、科学的・論理的に考える力や表現する力を育成し、自国の文化、社会の理解を深めるとともに、他国との相互理解に必要な資質を培う。
- (2) 豊かな知性と感性を育む教養教育を展開するため、系統的、発展的な指導を行い、教科学習を充実させるとともに、地域の教育資源を活用した体験的・発展的な学習を行う。また、大学や研究所、企業等と連携し、科学的な見方や考え方を育成する学習を行う。

### 【国語（書写）における学習指導の展開】

硬筆、毛筆とも、姿勢や用具の持ち方を正しくして書くことを意識しながら、文字の組み立て方に注意して、文字の形を整えていくことを学ぶ。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 書く文字を生徒が選択する教材数	武蔵野地区中高一貫6年制学校基本計画検討委員会報告書第3章 平成31年度学校経営計画	個
b 世界の文字・言語を扱っている箇所数	同上	箇所

### ※調査研究項目を設定した理由

- a 自ら考え、判断し、主体的に学習に取り組む姿勢を身に付けさせるため、書く文字を選択するよう示されている教材数を調査する。
- b 異文化に対する関心や理解を深め、他国との相互理解に必要な幅広い視野を養うため、世界の文字・言語を扱っている箇所数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】都立武蔵高等学校附属中学校 書写

項目 発行者	a 書く文字を生徒が選択する教材数	b 世界の文字・言語を扱っている箇所数
東書	3	3
三省堂	3	2
教出	3	2
光村	3	3
平均値	3.0	2.5

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 書く文字や言葉を複数示し、生徒が選択した文字や言葉を書写できる教材数を数えている。

b 世界の文字・言語を紹介するなどしている箇所数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	東書、三省堂、教出、光村

## 2 都立富士高等学校附属中学校の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

(1) 高い知性と深い教養をはぐくむ教養教育を展開するため、大学、企業、文化施設及び地域での学習や自然に触れる体験的な学習を積極的に取り入れる。

教育活動を通じて「探究心」を育て、特色ある教育の一層の充実を図る。

(2) 社会のリーダーとしての能力や資質をもつ生徒を育成するため、様々な文化・芸術・自然等に触れる体験的な学習を通して瑞々しい感性を高め、奉仕活動を通して社会に貢献する志を培う。

### 【国語（書写）における学習指導の展開】

国語（書写）を通して、硬筆、毛筆とも、字形、文字の大きさ、配列・配置などに配慮しながら、読みやすく、正確に、丁寧に文字を書くことを身に付けさせる。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	中野地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 平成31年度学校経営計画	個
b 書く文字を生徒が選択する教材数	同上	個

### ※調査研究項目を設定した理由

a 日本の文化・伝統に対する関心や理解を深め、継承・発展させる態度を身に付けさせるとともに、言葉に対する感性を育てるため、古典を活用している教材数を調査する。

b 自ら考え、判断し、主体的に学習に取り組む姿勢を身に付けさせるとともに、知的探究心を育成するため、書く文字を選択するよう示されている教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】都立富士高等学校附属中学校 書写

項目 発行者	a 日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	b 書く文字を生徒が選択する教材数
東書	10	3
三省堂	8	3
教出	15	3
光村	8	3
平均値	10.3	3.0

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 古典の文章やその一部などを活用している教材数を数えている。

b 書く文字や言葉を複数示し、生徒が選択した文字や言葉を書写できる教材数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	東書、三省堂、教出、光村

## 2 都立大泉高等学校附属中学校の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

- (1) 確かな学力の上に幅広い教養教育を展開するため、論理的思考力を育成し、情報化社会のリーダーとしての資質を養うため、教育の情報化を積極的に遂行する。
- (2) 豊かな人間性とリーダーとしての資質をもつ生徒の育成とともに、国際的視野をもつ生徒を育成するため、我が国の文化、他国の文化に触れる機会を多く取り入れ、国際的視野を育成する。

### 【国語（書写）における学習指導の展開】

用具・用材の性質と取り扱い方を理解させ、正しい姿勢と執筆法により、書写能力を高める。さらに、楷書・行書などを学び、基礎的な書写能力を育成し、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	練馬地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 平成31年度学校経営計画	個
b 世界の文字・言語を扱っている箇所数	同上	箇所

### ※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の文化・伝統に対する関心や理解を深め、継承・発展させる態度を身に付けさせるため、古典を活用している教材数を調査する。
- b 異文化に対する関心や理解を深め幅広い視野を養うため、世界の文字・言語を扱っている箇所数を調査する。



「別紙」【内容 調査研究】都立大泉高等学校附属中学校 書写

項目 発行者	a 日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	b 世界の文字・言語を扱っている箇所数
東書	10	3
三省堂	8	2
教出	15	2
光村	8	3
平均値	10.3	2.5

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 古典の文章やその一部などを活用している教材数を数えている。

b 世界の文字・言語を紹介するなどしている箇所数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	東書、三省堂、教出、光村

## 2 都立南多摩中等教育学校（前期課程）の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

- (1) 精神の豊かさと確かな学力を追求し、国際感覚を育てる。そのため、地域への理解を深めるとともに、世界へ広がる視点のもとに国際感覚を涵養し、異文化理解のための指導を行う。
- (2) 質の高い教育活動を行うため、専門的な学問領域に触れさせ、知的好奇心を鼓舞し、科学的探究心溢れる教科指導を行い、大学や企業との連携・接続により最先端の学問・芸術、社会や経済の動向に触れさせる。

### 【国語（書写）における学習指導の展開】

日常生活における書への関心を喚起するとともに、用具・用材との基本的な関係や目的や用途に応じた形式、毛筆と硬筆の用途上の違い等、表現上の基礎的な知識について理解し、感性を豊かにし表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 書く文字を生徒が選択する教材数	八王子地区中高一貫6年制学校基本計画検討委員会報告書第3章 平成31年度学校経営計画	個
b 世界の文字・言語を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 自ら考え、判断し、主体的に学習に取り組む姿勢を身に付けさせるため、書く文字を選択するよう示されている教材数を調査する。
- b 異文化に対する関心や理解を深め幅広い視野を養うため、世界の文字・言語を扱っている箇所数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】都立南多摩中等教育学校(前期課程) 書写

項目 発行者	a 書く文字を生徒が選択する教材数	b 世界の文字・言語を扱っている箇所数
東書	3	3
三省堂	3	2
教出	3	2
光村	3	3
平均値	3.0	2.5

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 書く文字や言葉を複数示し、生徒が選択した文字や言葉を書写できる教材数を数えている。

b 世界の文字・言語を紹介するなどしている箇所数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	東書、三省堂、教出、光村

## 2 都立三鷹中等教育学校（前期課程）の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

- (1) 高い見識と幅広い視野を育成する教育を展開するため、論理的な思考の根幹を担う日本語の基礎・基本を重視し定着・伸長させ、観察、実験、実習、見学等の体験的な学習を積極的に取り入れる。
- (2) 高い倫理観、豊かな人間性をもった生徒を育成するため、ボランティア体験、奉仕体験活動を有機的に編成する。

### 【国語（書写）における学習指導の展開】

国語（書写）では、基礎・基本の習得を重視し、文字感覚の育成を図るとともに、自ら進んで工夫し、丁寧に書く意識や態度、書写能力を日常生活に役立たせることを目指す。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	三鷹地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 平成31年度学校経営計画	個
b 書く文字を生徒が選択する教材数	同上	個

### ※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の文化・伝統に対する関心や理解を深め、継承・発展させる態度を身に付けさせるとともに、国際社会で日本のよさを発信できるようにするため、古典を活用している教材数を調査する。
- b 自ら考え、判断し、主体的に学習に取り組む姿勢を身に付けさせるとともに、発達段階に応じた発展的で深化した内容に取り組むため、書く文字を選択するよう示されている教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】都立三鷹中等教育学校(前期課程) 書写

項目 発行者	a 日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	b 書く文字を生徒が選択する教材数
東書	10	3
三省堂	8	3
教出	15	3
光村	8	3
平均値	10.3	3.0

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 古典の文章やその一部などを活用している教材数を数えている。

b 書く文字や言葉を複数示し、生徒が選択した文字や言葉を書写できる教材数を数えている。

